

RICOH REPORT

2018 

Contents	トップインタビュー（2018年度上期業績およびリコー挑戦の進捗について） 株主様インフォメーション
裏表紙	株主メモ、IRメール配信登録のご案内



2018年度上期業績および リコー挑戦の進捗について

代表取締役 社長執行役員・CEO
山下 良則

1. 2018年度上期の業績と通期の見通しについて

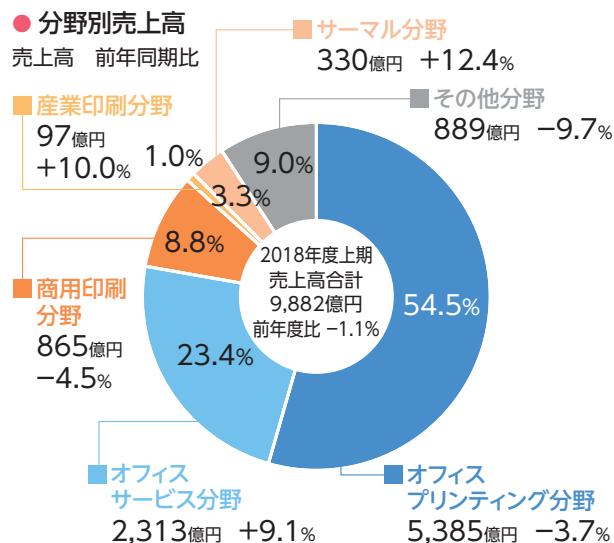
2018年度上期の売上高は9,882億円と、株式譲渡を行った電子デバイス事業およびロジスティクス事業の影響を除けば、ほぼ前年同等の水準を達成しました。これに対し、営業利益は520億円と前年同期比で約2.4倍の大幅増益となりました。なお、特殊要因であるリコーロジスティクス(株)の株式譲渡益を

除いても、社内計画を上回って着地することができました。これは構造改革を進めてきた結果として、オフィスプリンティング分野の収益性が回復しつつあることに加え、成長を図るオフィスサービス分野でもITサービス・業種業務ソリューションの販売が拡大、利益増となったことが牽引したものです。

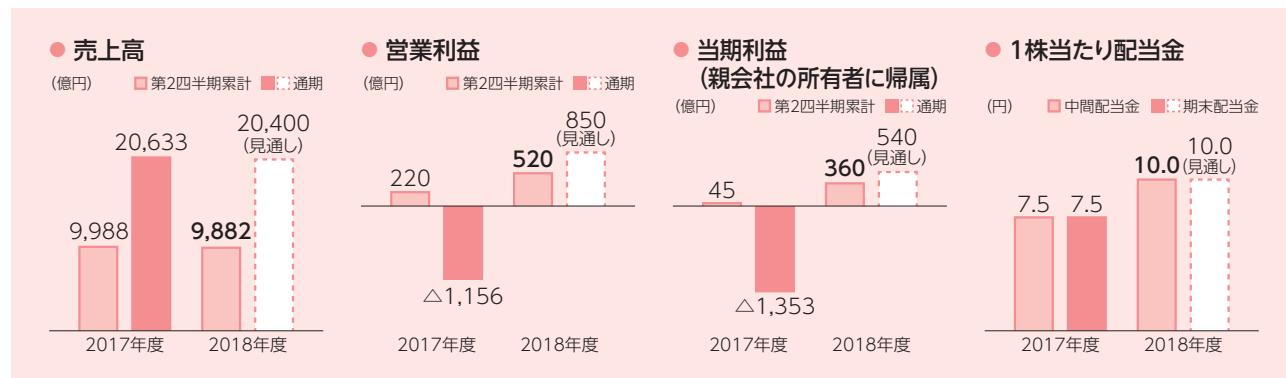
成長分野と位置付ける、商用印刷分野は製品切り替への端境期により上期は減収減益となりましたが、第2四半期から新製品拡販が進み増益に転換しました。また、サーマル分野は原材料高騰などにより上期減益となりましたが、こちらも第2四半期から販売価格の見直しが進展し減益幅は縮小しました。

通期見通しについては、リコーインドに関連する費用や、米中貿易摩擦、EU地域の混乱などの内外リスクは依然として存在するものの、ICT*1市場が引き続き堅調に拡大していることや、構造改革によりオフィスプリンティング分野をはじめとする基盤事業の収益力が着実に強化されてきたことから、年度当初の営業利益の通期見通しを50億円引き上げ、850億円に上方修正いたしました。

*1 ICT :Information and Communication Technology
情報・通信に関する技術の総称。



配当につきましては、期初ご案内させていただきました第19次中計での株主還元方針に基づき、中間配当金として1株当たり10円を決定いたしました。



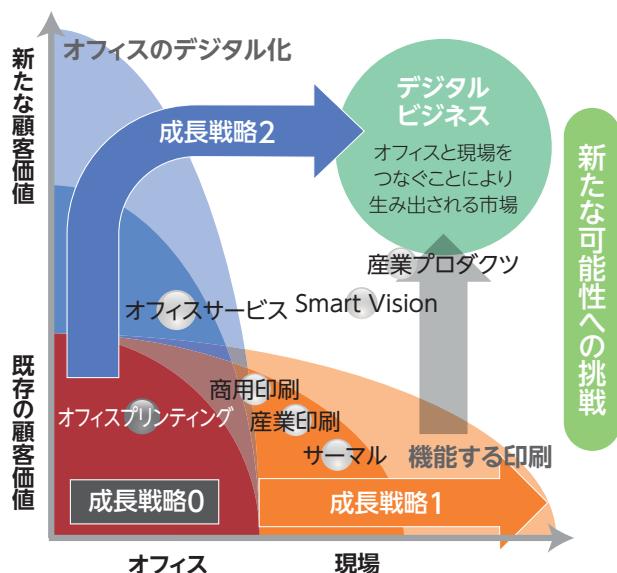
2. 成長戦略「リコー挑戦」の現在の進捗状況について

「リコー挑戦」では、国連が推進する「持続可能な開発目標 (SDGs*2)」をその中心に据えました。リコーはこのSDGsの達成に貢献するために、5つの重要社会課題(マテリアリティ)を設定し、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。この考え方の下に、「リコー挑戦」では、成長戦略0から2まで3つ

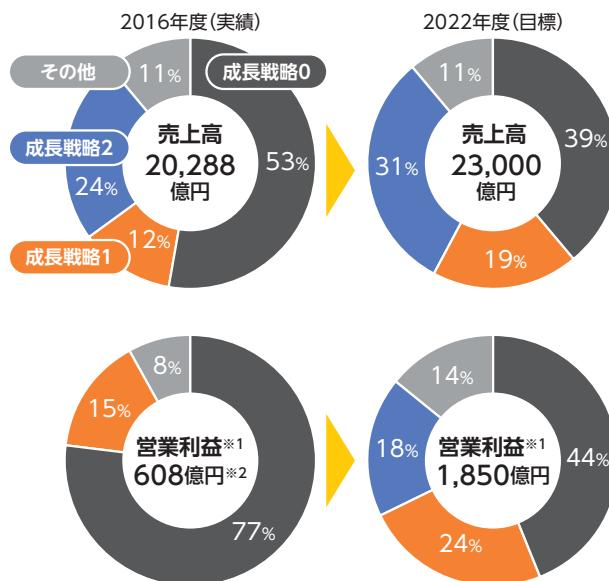
の戦略を掲げ、成長戦略の実行により収益構造を大きく転換していきます。

成長戦略1、2においては、これまで培った技術を活かし、さらに必要な外部のリソースを積極的に獲得、活用しながら、戦略実行、そして目標の達成を確実なものにしてまいります。

● 成長戦略「リコー挑戦」



● 事業ポートフォリオの転換



※1 比率は本社・消去除く ※2 減損費用などの特殊要因除く

*2 SDGs :Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

貧困や飢餓、健康や安全衛生、経済発展、環境課題など、17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって、『誰も取り残されない』社会を2030年までに実現することを目指す世界共有のゴール。2015年9月の国連サミットで採択。

成長戦略0

基盤事業であるオフィスプリンティング分野の収益性を徹底して高めることを目指します。これまで事業運営体制の見直しやスリム化による体質強化とともに、採算を重視した商談選別による売価マネジメントを推進してまいりました。さらに、生産面でも、デジタル技術を取り入れた高効率な新工場を設立し、生産効率や品質向上により売上原価の低減を図ります。



中国華南地区に建設予定の新工場完成予想図（竣工：2019年8月予定）

成長戦略1

リコーの強みである「プリンティング技術」を活かし、オフィス以外へ顧客基盤を拡げていくことを目指します。産業印刷分野では、「テキスタイル(衣料)」、「塗装」、「デコレーション(建材)」「ラベルパッケージ」の4分野を当社が狙う領域と決めました。いまなおアナログ印刷による大量生産が中心の4分野をデジタル化することで、顧客のニーズに合わせて必要なものを必要な分だけ印刷(生産)することが可能になります。今回、「テキスタイル(衣料)」では、工業用刺繍機向け糸染色ユニットの開発を行うカラーリール社(スウェーデン)と提携をいたしました。「塗装」では、(株)エルエーシー(日本)の買収を行いました。エルエーシー社は自動車や航空機などのボディをはじめ、さまざまな立体物への印刷が可能な独自のインクジェット技術を有しています。

産業印刷で当社が狙う領域

テキスタイル(衣料)

提携 カラーリール社
(スウェーデン)

塗装

買収 (株)エルエーシー
(日本)

デコレーション(建材)

ラベルパッケージ

トップインタビュー

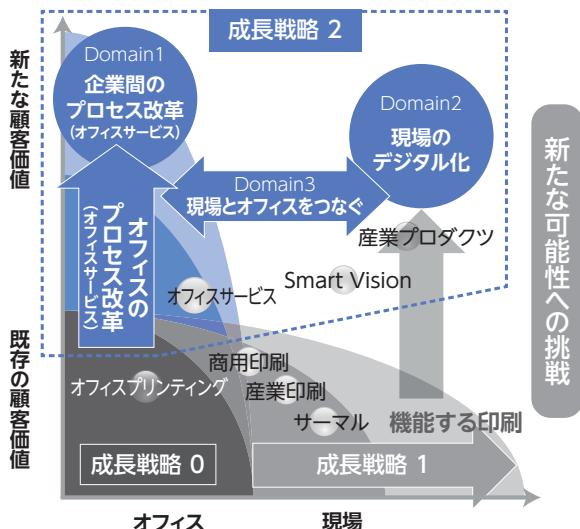
成長戦略2

オフィスと現場のデジタル化を進め、そしてさらに現場とオフィスをつなぐことで、これまでにないシームレスなワークフロー、コミュニケーション環境の実現を目指します。

オフィスのデジタル化では、既に、ITサービス・業種業務向けソリューションの販売展開などにより、オフィスのプロセス改革を進めており、収益も着実に増加しています。さらに今後は、国内の中小企業間の取引のデジタル化を進めることとしました。(①)

同時に現場のデジタル化においても、医療現場(病院)、製造現場(工場)、物流現場(倉庫)、販売現場(店舗)などオフィスの外で仕事をするすべての場所を対象に、デジタル化を進めるチャンスが相当にあると考えています。(②)

そして、この現場のデジタル化が進むと、お客様のオフィスと現場のワークフローがデジタル技術によって繋がります。このことで、劇的に業務の生産性が向上します。当社が、オフィスのデジタル化だけでなく、現場のデジタル化を両輪で進める理由がここにあります。(③)



新たな可能性への挑戦

<2018年度これまでの進捗>

① 企業間のプロセス改革

国内の中小企業については、発注書や請求書などをファックスでやりとりすることが多く、デジタル化の遅れは社会課題であると捉えています。今回、企業間取引の効率化を支援するソフトウェアを有するメイクリース(株)を買収し、さらに手書き文書の読み取りにも対応する当社の光学・画像処理技術と組み合わせて、企業間取引のデジタル化を促進します。

② 現場のデジタル化

医療/介護現場では、少子高齢化により、患者・被介護者が増える一方、深刻な人手不足が課題となっています。これに対し、当社では、医療現場向けに、患者、医療スタッフ、医療機器の位置をリアルタイムで把握し、現場の業務効率向上に寄与する、屋内位置情報サービスを立ち上げました。また、介護現場向けには、ミネベアアミツミ(株)と共同で「みまもりベッドセンサーシステム」を開発し、転倒・転落防止アラートや生体情報、介護記録システムやナースコールと連携させるなど、現場のオペレーションの効率化に貢献するサービスを2018年7月より販売開始しました。今後さらに、物流、教育、製造、販売といった様々な現場でのデジタル化を推進し、業務効率化に貢献してまいります。

③ 現場とオフィスをつなぐ

当社はオフィス・現場それぞれをデジタル化するだけでなく、それらをつなぐことで新たな課題解決につながると考えています。例えば、路面状態の検査を行うインフラ整備業務では、従来は点検担当者が現地へ赴き、路面を撮影し、オフィスに持ち帰り、手作業でレポートを作成していました。これに対し、当社の路面性状モニタリングシステムは、これまで培った光学・画像処理技術を活かしたステレオカメラを一般車両に搭載し、路面の凹凸やひびの検知・人工知能(AI)によるひび割れ解析を行うだけでなく、結果を地図上にマッピングするなどレポート自動生成まで支援します。2018年9月に、このシステムは一般財団法人土木研究センターの性能確認試験に合格し、受託業務として自治体の管理する市道の測定を開始しています。



路面性状モニタリングシステムを搭載した車両

株主様インフォメーション

2018年度下期株主優待のご案内

[基準日:2018年9月末]

I 単元(100株)以上保有の全株主様に お送りするもの

●壁掛けカレンダー

お届け時期:
12月上旬～中旬(順次)



カレンダーに関する
お問い合わせ

リコー株主優待事務局:0120-503-802
受付時間:10:00～17:00
(土日祝日・年末年始を除く2019年2月28日まで)

II 1,000株以上保有の株主様にご案内するもの【抽選】

- リコーフィル演奏会(ペア250組500名様)
- カメラセミナー(東京)(20名様)
- リコー環境事業開発センター(御殿場)見学会(30名様)
- リコー関連・協賛イベントグッズ(計1,500名様)
- フェルメール展(大阪)(ペア150組300名様)

*詳細は同封の「株主優待イベントのご案内」をご覧ください。

III 全株主の皆様にご案内するもの

当社株式を保有されている全株主の皆様、リコーイメージング(株)のカメラ等の製品やリコーエレメックス(株)の時計製品等を特別価格にて販売いたします。同封の案内をご覧ください。

【ご報告】2018年度上期株主向けイベント実施

◆市村自然塾見学会ご招待【抽選】

満足・やや満足 **100%**

10月20日、株主様に塾生の農作業する姿をご覧いただきました。

株主様のご感想

- 農作業を通じて、自律的になる子ども達の育成事業に感心した。
- 子ども達の元気な笑顔に出会えて良かった。



◆「カメラセミナー(大阪)」ご招待【抽選】

満足・やや満足 **94.4%**

11月10日、関西方面でのカメラセミナーを開催いたしました。

株主様のご感想

- 1日ゆっくりカメラと向き合えて興味が持てた。
- 講義・撮影・講評があり、とても良かった。
- 違う機種でも撮影体験したかった。



上記の他、「リコーフィル演奏会」「ラグビー観戦チケット」「フェルメール展招待券」「日本科学未来館常設展示招待券」を抽選でプレゼント・ご招待いたしました。

優待スケジュール
2019年
年間スケジュール

リコーフィル演奏会
フェルメール展(大阪)

1月

2月

3月

4月

5月

6月

第3四半期決算発表

基準日

通期決算発表

株主総会

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社 の全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、特別口座にて株式を管理されていらっしゃる株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

IRメール配信登録のご案内

株主の皆様へ決算情報やニュースリリース、その他のIR情報を電子メールでお知らせしております。

ご希望の方は、当社IRサイトよりご登録の手続きをお願いいたします。

※本サービスは携帯電話メールには対応しておりません。

ご登録方法

- 1 「リコー IR」で検索し、IRトップページへ

リコー IR

- 2 こちらの ボタンよりご登録ください。



株式会社 リコー



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

